

## 文化・芸術

### 「夢」

1996年 クスノキ・彩色  
高さ60・0cm(寄託作品、撮影：荒岡修)

### 丸尾康弘 (1956年)

大川美術館では2020年から毎年、桐生出身あるいは在住のアーティストたちによるグループ展を開催しています。今年も10月7日から、「桐生のアーティスト2023 KIRYU Days」を開催します。そして今回は、同時開催として「特集展示 桐生のアーティスト大収穫祭」と題し、これまでのグループ展に参加願ったアーティストたちの作品も展示します。

桐生に移り住んで20年以上になる丸尾康弘氏は、2020年に参加して、創作のベースを桐生と郷里熊本県山鹿市に置いて活躍する木彫家です。その具象的な表現を見ていくと、素材としての木の中から、二つの方向があるようです。

一つは、雄大で荒々しい自然に対する畏敬の念、もう一つは自然が育む生命の尊さへの思いです。前者からは、雄々しい山男の大型の彫像となり、後者からは無垢(むく)な子どもや透明感のある少女の姿が生まれています。

幼いまな娘をモデルにしたこの作品でも、すでに無邪気な子どもの姿をとらえて、幼い命に対する温かいまなざしが感じられます。

(田中)



### 《名画の扉》

大川美術館特集展示「桐生の  
アーティスト大収穫祭」から